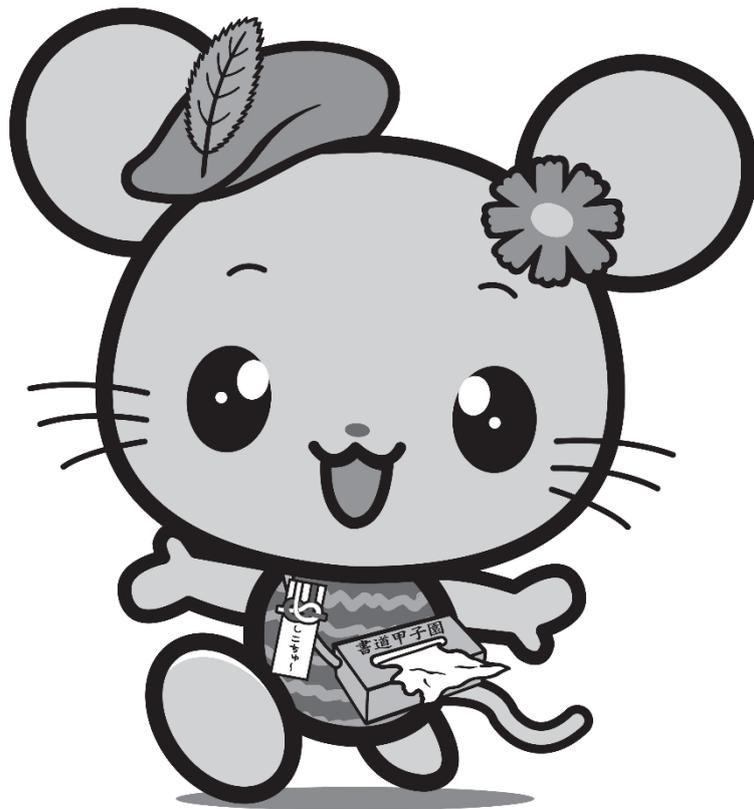


第6期 四国中央市自立支援協議会

第6回会議資料



2019年7月19日

四国中央市自立支援協議会

第 6 期 四国中央市自立支援協議会 第 6 回会議

日時 2019 年 7 月 19 日（金） 19：00～

会場 四国中央市市民交流棟 2 階会議室 1・2

1 開会の挨拶

2 議事

【報告事項】

- ① 第 6 期 四国中央市自立支援協議会専門部会及び連絡会活動報告・・・P6～P15

【協議事項】

- ① 2019 年度 四国中央市就職準備フェアについて・・・・・・・・・・・・・・P16～P17

3 その他

4 閉会の挨拶

**第 6 期四国中央市自立支援協議会
2019 年度自立支援協議会及び部会報告会日程**

第 5 回

部会報告会 4 月 23 日（火） 15 : 00～17 : 00 庁舎棟 2 階 202 会議室

自立支援協議会 5 月 13 日（月） 19 : 00～21 : 00 市民交流棟 2 階 会議室 1・2

第 6 回

部会報告会 7 月 10 日（水） 15 : 00～17 : 00 庁舎棟 2 階 202 会議室

自立支援協議会 7 月 19 日（金） 19 : 00～21 : 00 市民交流棟 2 階 会議室 1・2

第 7 回

部会報告会 10 月 29 日（火） 15 : 00～17 : 00 庁舎棟 2 階 202 会議室

自立支援協議会 11 月 7 日（木） 19 : 00～21 : 00 市民交流棟 2 階 会議室 1・2

第 8 回

部会報告会 2020 年 2 月 4 日（火） 15 : 00～17 : 00 庁舎棟 2 階 202 会議室

自立支援協議会 2020 年 2 月 13 日（木） 19 : 00～21 : 00 市民交流棟 2 階 会議室 1・2

【資源開発部会】

1. 部会開催状況

2019年度 第1回 4月16日(火) 第2回 5月23日(木)
第3回 6月12日(木) 第4回 7月2日(火)

2. 活動内容

○支援者向けアンケート調査報告書の作成について、最終まとめを実施

○家族向けアンケートは現在集計中

○当事者向けアンケートについて

- ・調査方法について常任委員会にて報告した際、「福祉系大学に通う学生にアンケート調査の協力要請を行ってみてはどうか」という提案があり、部会員と長年の親交がある四国学院大学に相談した結果、承諾してもらうことができ、授業の枠の中で講義形式にて依頼予定。

日時：7月12日(金) 15:15~16:40

対象者：四国学院大学 社会福祉学科2年生

(4年生、四国中央市出身者にも声掛け)

講義内容：自立支援協議会について → 生活福祉課

部会からの協力依頼 → 部会

依頼内容：最大3泊4日で市内通所系事業所を訪問し、当事者の声を聞き取る

- ・愛媛県が「第5次愛媛県障がい者計画」を策定するためのアンケート調査を実施する予定があり、四国中央市にも131件の協力要請があることを確認。

上記の学生による聞き取り調査が実現できたとしても、通所系事業所利用者の回答のみになってしまうため、県のアンケートを活用して郵送によるアンケート調査も実施する予定。

3. 今後の活動予定

○家族向けアンケート結果整理

○当事者向けアンケートについて、学生の聞き取りが可能となれば内容協議と県アンケートを活用した郵送アンケートの実施と結果整理

1. 調査目的

支援者の目線から当事者及び家族等の障がい福祉サービスのニーズ調査・分析を行い、不足しているサービスの検証や充実するための方策の研究、未実施及び新たなサービス利用に関する基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査概要

- 調査対象 障がい福祉サービス事業所、病院、行政機関等の72事業所
- 調査方法 持参配布、郵送配布
- 設問内容
 - ①サービスとしてはあるが、「足りていない」「もっとあればいいのに」と思うサービスとその理由
 - ②サービスとしてないが、「あったらいいな」と思う社会資源とその理由
 - ※①②は、それぞれ【暮らし】【日中活動】【就労】【余暇活動】【その他】の項目ごとに
 - ③他に何か気になること
- 調査期間 2018年10月16日～11月22日
- 回収率 91.6%(66事業所)

3. 分析方針

支援者向けアンケートは全て記述式の回答方式となっているため、数値データと異なり定量的な分析は難しい。また、全文字数は3万字を超えるため、個人が全体像を捉え、分析することも困難である。よって、以下の方法で分析を行った。

- (1) アフターコーディング … 主要な要望を捉える 別添1 参照
- (2) テキストマイニング … 単語の出現頻度や関連性から要望を捉える 別添2 参照

4. 分析結果

(分析1)アフターコーディング

	①現在あるサービスの中で、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス			②現在サービスとしてないの、「あったらいいな」と思う社会資源		
	暮らし	就労	余暇活動	日中活動	就労	余暇活動
第1位	公共交通機関の便数 ・バス(6) ・デマンド(5) ・公共交通機関(5) ・JR(2) 内、重複2件	民間企業の障がい者雇用に対する意識や理解 事業所 ・不足(3) ・サービス内容(6)	ヘルパー ・不足(8) ・休日対応可(5) ・男性(5) 内、重複2件	共通趣味のサークルや仲間作り、地域と交流できる場(夜間や休日など)	見学会や体験(企業や事業所)	居場所(週末や夕方から夜間に1人～複数名のサークル等)
第2位	グループホーム		移動手段の充実	ボランティアと一緒に余暇活動(旅行や来訪など) 日中一時支援	交流の場(企業、事業所、商工会、青年会議所)	体験ができる場(交流スペース、ワークショップ、美容関係、スポーツ、芸術展等)
第3位	ヘルパー ・不足(6) ・男性(3) ・休日・夜間対応(3) ・急な対応(1) ・ヘルパー事業所の増(1) 内、重複5件	一般就労に関する研修・勉強会(当事者・企業・家族・支援者) 職種・業種の拡充	イベント・スポーツの場		適正な仕事のマッチング(仕事内容リスト、実績リスト、フォロー態勢)	障がい者が利用しやすい場(飲食店、商業・娯楽施設等)

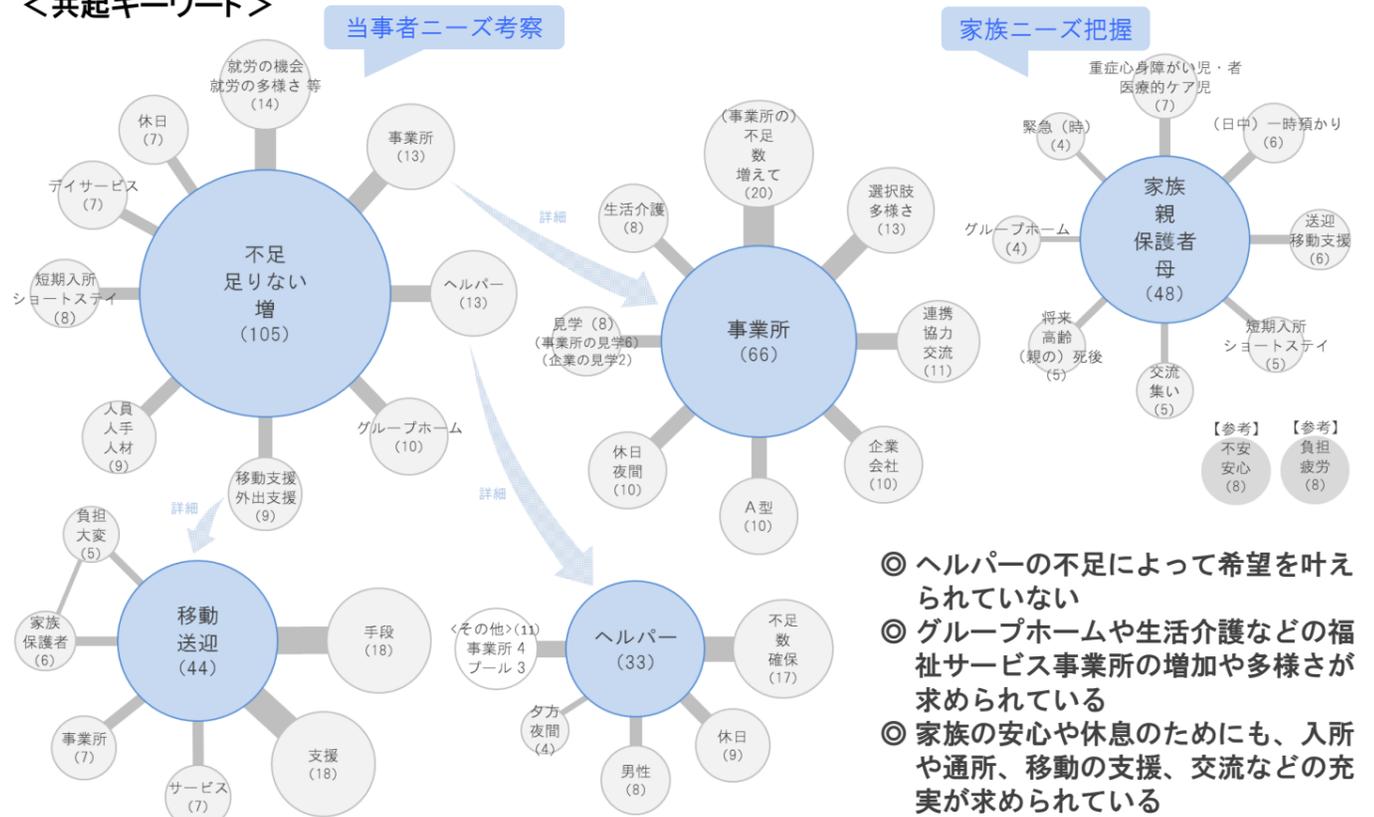
◎ 障がい者の雇用や居場所づくりのため、当事者・支援者・企業・地域の連携や交流が求められている
◎ 公共交通機関の便数の増加や新たな移動手段の充実が求められる

(分析2)テキストマイニング

<頻出キーワード>

	①現在あるサービスの中で、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス				②現在サービスとしてないの、「あったらいいな」と思う社会資源			
	暮らし	日中活動	就労	余暇活動	暮らし	日中活動	就労	余暇活動
第1位	デマンドタクシー 18	事業所 23	就労 27	ヘルパー 17	地域 15	集 12	企業 22	イベント 8
第2位	グループホーム 16	就労 10	企業 16	移動 8	災害 7	子/児 8	就労 12	遊 8
第3位	バス 13	デイサービス 10	機会 11	土日/休日 8	外出 5	趣味 6	事業所 12	趣味 7
第4位	移動 10	生活介護 9	事業所 10	活動 8	バス 5	事業所 6	働 9	集 7
第5位	事業所 9	日中 9	理解 8	余暇 6	夕/夜 5	就労 5	雇用 9	余暇 6
第6位	子/児 9	選択 9	仕事 7	男性 5	事業所 4	地域 5	見学 9	子/児 6
第7位	ヘルパー 8	B型 8	A型 7	外出 4	家族 4	日中 5	機会 8	事業所 5
第8位	短期入所/ショートステイ 11	子/児 7	雇用 6				仕事 7	学校 5
第9位	土日/休日 6	空き 7	就職 5					居場所 4
第10位	公共交通機関 6	活動 6	B型 5					交流 4

<共起キーワード>



- ◎ ヘルパーの不足によって希望を叶えられていない
- ◎ グループホームや生活介護などの福祉サービス事業所の増加や多様さが求められている
- ◎ 家族の安心や休息のためにも、入所や通所、移動の支援、交流などの充実が求められている

5. 結論

- ★ **移動に関する利便性向上のため、地域独自の仕組みが求められる**
- ★ **緊急時対応や選択肢を広げるために**事業所の増加**が必要である**
- ★ サービスの充足を図るためには、**ヘルパーの人材確保**が必要である
- ★ **夜間や休日などの居場所づくりや交流の場**が求められている
- ★ 知られていないために使われていないサービスがあるため、福祉サービスの一覧や提供先などを掲載した**四国中央市の障がい福祉サービス総合サイト**のようなものがあればよりニーズを満たせる

分析1 アフターコーディング

アフターコーディングとは…自由記述方式のアンケート調査において、回収後に分類(選択肢化)することで、集計する分析方法

各設問における主要な(代表的な)意見を抽出し、集計した結果は以下のとおり。

	①現在あるサービスの中で、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス					②現在サービスとしてないので、「あったらいいな」と思う社会資源				③他に何か気になること
	暮らし	日中活動	就労	余暇活動	その他	暮らし	日中活動	就労	余暇活動	
第1位 (最多の要望)	公共交通機関の便数 ・バス(6) ・デマンド(5) ・公共交通機関(5) ・JR(2) 内、重複2件 18件	デイサービス・事業所 11件	民間企業の障がい者雇用に対する意識や理解 事業所 ・不足(3) ・サービス内容(6) 9件	ヘルパー ・不足(8) ・休日対応可(5) ・男性(5) 内、重複2件 18件	夜間のサービス・施設 短期入所 情報の周知不足(相談の流れ・サービス情報) 人材確保 3件	地域交流の場(夕・夜間、子供も可能な場など) 8件	共通趣味のサークルや仲間作り、地域と交流できる場(夜間や休日など) 31件	見学会や体験(企業や事業所) 11件	居場所(週末や夕方から夜間に1人~複数名のサークル等) 15件	障がいについて学べる場(親子、学校、園など) 3件
第2位	グループホーム 15件	生活介護 8件		移動手段の充実 6件		防災について集まる場(訓練や意見交換など) 移動に関する支援の充実(通院、通勤、通学、車いす利用者等) 7件	ボランティアと一緒にの余暇活動(旅行や来訪など) 日中一時支援 3件	交流の場(企業、事業所、商工会、青年会議所) 7件	体験ができる場(交流スペース、ワークショップ、美容関係、スポーツ、芸術展等) 14件	
第3位	ヘルパー ・不足(6) ・男性(3) ・休日・夜間対応ヘルパー&事業所(3) ・急な対応(1) ・ヘルパー事業所の増(1) 内、重複5件 14件	事業所の特色(内容) 7件	一般就労に関する研修・勉強会(当事者・企業・家族・支援者) 職種・業種の拡充 8件	イベント・スポーツの場 4件				適正な仕事のマッチング(仕事内容リスト、実績リスト、フォロー態勢) 4件	障がい者が利用しやすい場(飲食店、商業・娯楽施設等) 7件	
第4位	デマンドタクシーの地域ごとの乗り換えが不便 短期入所 11件	就労継続支援A型事業所 日中一時支援 障害特性に合った事業所(肢体不自由、重心、医ケア、難聴、ハード面) 5件		娯楽施設の拡充(土日にも利用可能) 3件		交通機関の充実(福祉バス、巡回バス等) 6件		職場、社会的役割(身体障がい者・重度障がい者) 障がい者雇用に関する啓発活動 3件	交流機会(支援学校卒業生の集まれる場、定期的若しくは季節行事、事業所の垣根を超え) 日帰り旅行支援 3件	
第5位			A型事業所(選択肢が少ない) 就労に関する情報・周知不足 就労に向けた支援 5件			移動販売の充実(食料品など) 4件				

考察

- ◎ 公共交通機関の利用に課題があるため、便数の増加や新たな移動手段の充実が求められる。
- ◎ 福祉サービス事業所(特に生活介護やグループホーム)の増加が求められている。
- ◎ 暮らしや余暇活動の充実を図るため、ヘルパー(特に男性)不足解消と休日夜間対応の充実が必要である。
- ◎ 障がい者雇用促進を図るため、当事者・支援者・企業が、研修、交流、体験の機会を共有し相互理解を深めることが必要である。
- ◎ 生活全般を通じて、夜間休日を問わず、同じ趣味を持つ者同士が集える「交流・体験の場」や「地域交流の機会」が求められている。

分析2 テキストマイニング

テキストマイニングとは…文章を単語単位に分割して、出現頻度や単語間の関連性をみる(文字データを数値データとして扱う)ことで有益な情報を収集する分析方法

分析方法は以下のとおり。

- 代表的な単語(ニーズの把握に重要な単語等)を選出し、出現頻度を計測 → 頻出キーワード
※全ての単語を網羅しているものではない
- 出現頻度と重要度が高い単語に着目し、他の単語との共起頻度を計測 → 共起キーワード
※共起とは、文章中に単語が同時に出現することを指すが、ここではニーズを表す単語として出現したものを計測している

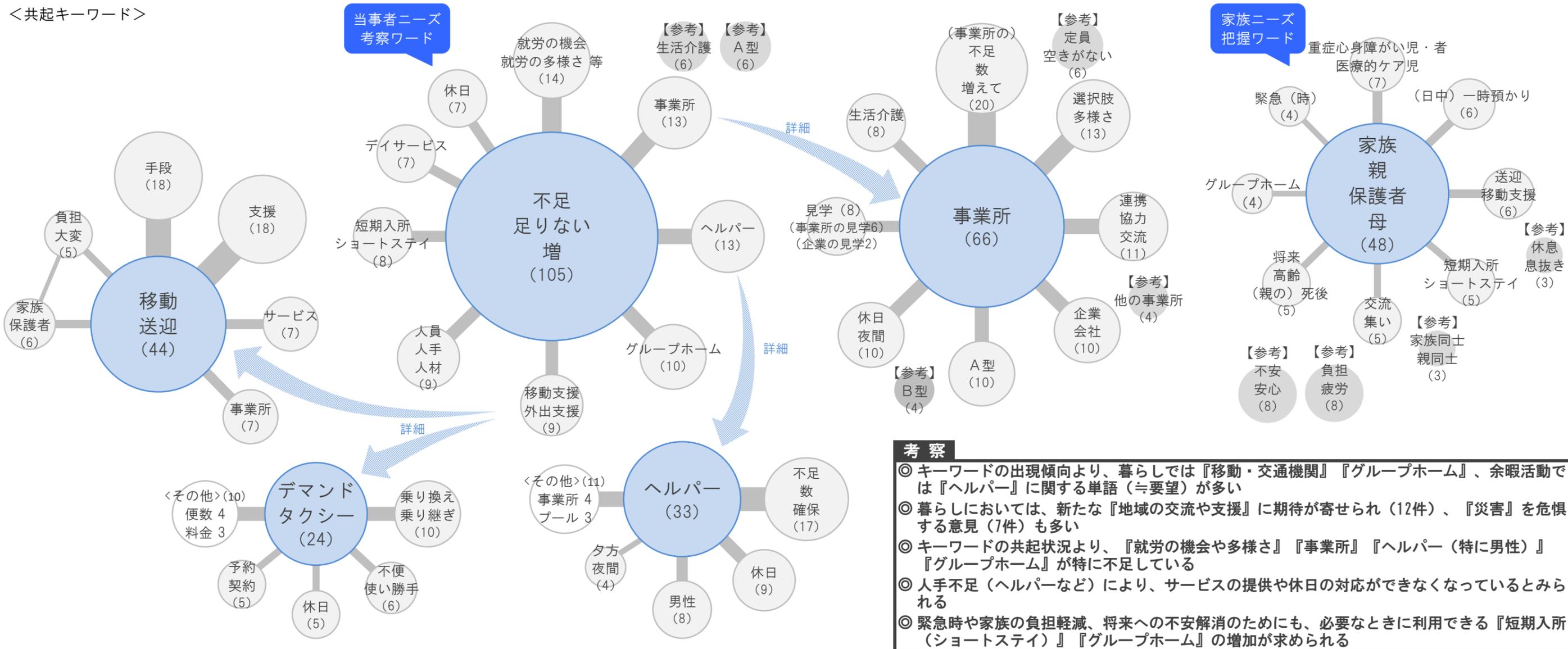
共起キーワード イメージ



<頻出キーワード>

	①現在あるサービスの中で、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス					②現在サービスとしてないので、「あったらいいな」と思う社会資源					③他に何か気になること
	暮らし	日中活動	就労	余暇活動	その他	暮らし	日中活動	就労	余暇活動	その他	
第1位	デマンドタクシー 18	事業所 23	就労 27	ヘルパー 17	相談 3	地域 15	集 12	企業 22	イベント 8	子/児 9	子/児 7
第2位	グループホーム 16	就労 10	企業 16	移動 8	短期入所/ショートステイ 3	災害 7	子/児 8	就労 12	遊 8	市内 5	家族 4
第3位	バス 13	デイサービス 10	機会 11	土日/休日 8		外出 5	趣味 6	事業所 12	趣味 7	医療 3	親 3
第4位	移動 10	生活介護 9	事業所 10	活動 8		バス 5	事業所 6	働 9	集 7		送迎 3
第5位	事業所 9	日中 9	理解 8	余暇 6		夕/夜 5	就労 5	雇用 9	余暇 6		事業所 3
第6位	子/児 9	選択 9	仕事 7	男性 5		事業所 4	地域 5	見学 9	子/児 6		
第7位	ヘルパー 8	B型 8	A型 7	外出 4		家族 4	日中 5	機会 8	事業所 5		
第8位	短期入所/ショートステイ 11	子/児 7	雇用 6					仕事 7	学校 5		
第9位	土日/休日 6	空き 7	就職 5						居場所 4		
第10位	公共交通機関 6	活動 6	B型 5						交流 4		

<共起キーワード>



重要な少数意見

少数意見の中にも、多くの人気づかない、見落とされがちな意見も存在する。また、障がいの状況は人により多様であり、必然的に少数の障がい種別に属している人がいるのも事実である。

多数を重視するアンケート調査では埋もれてしまう重要な要望を活かすために、分析1・分析2では拾えないニーズを部会で選出した。

	①現在あるサービスの中で、「足りていない」「もっと、あればいいのに」と思うサービス	②現在サービスとしてないので、「あったらいいな」と思う社会資源
暮らし	歩道の整備や修繕不足	移送サービスがあれば生活行動範囲が広がる
	障がい者及び医療的ケアが必要な方への入浴サービス	地域交流ボランティアの養成の場(送迎込み)
	福祉サービス利用援助事業の需要に供給が間に合っておらず、支援員の増員や社協以外の事業所もできる仕組みづくり	お掃除チケット(シルバー人材より10時間無料)
	保育園・幼稚園等、障がい児の受け入れ時間や曜日など 人材の確保	銀行等手続き代行サービス
	移動支援サービスの範囲拡充	
	移動スーパー及び個人宅配の支援・援助	
日中活動	就学等のこどもへのサポート、学校数の不足	技能、資格が取得できるところ
	個別に日中活動や生活訓練ができる訪問系のサービス	当事者、家族(介助者)が社会に出て一緒に働けるような場所
		生活訓練のようなことができる機会(場)を定期的に提供してくれる団体
就労	テレワーク	就業中のヘルパー利用
	農福連携	重症心身障がい児(者)、肢体不自由、医療的ケア(児)者の就業場所
		就労継続B型利用からのステップアップ支援
		高齢障がい者の就労
余暇活動	障がいのある人でも気軽に利用できる店(飲食店)などが増えるようなアプローチ	ボランティアがいて家族の負担がなく参加できるイベント
		イベント情報アプリ
		特技のある障がい者が地域課題に取り組めるようなコーディネーター
その他	相談支援事業所、相談支援専門員	他の支援施設を利用している方や職員の交流を行う場
		性について学べる場
		制度の狭間にいる人の支援

【拠点整備部会】

1. 部会開催状況

2019年度 第1回 4月15日(月) 第2回 5月20日(月)
第3回 6月17日(月) 第4回 7月8日(月)

2. 活動内容およびこれまでの成果

① 地域生活支援拠点整備の検討

2018年度作成した整備イメージを基に、具体案を検討。太陽の家を含めた行政に求める役割をまとめる。※別紙参照

② 成年後見、権利擁護啓発ハンドブックの活用

2019年度の完成を目指し、内容の見直しを行う。

3. 今後の協議内容

① 地域生活支援拠点整備に向けての検討

② 成年後見、権利擁護啓発ハンドブック 2019年度版の作成

前年度当部会で提案した「地域生活支援拠点イメージ図」を基に、具体的な機能や必要な役割を整理することで、整備に向けた協議を進めている。

その中でも、行政機関「地域生活支援機能付障害者支援施設」に求める役割や機能を整理した。

- ① 短期入所機能（医療的ケア機能を含む）
 - ② 緊急時一時支援、レスパイト機能
 - ③ 相談支援機能
- ①は市内に2箇所、②は市内1箇所が稼動。特に②については必要な時に利用できるよう複数の機関で対応できることが望ましい。
- ③については、入所者の相談支援にあたることはもちろんであるが、夜間や休日の相談支援体制を整えることで、緊急時対応となるケースを防ぐ可能性もある。
- ④ 休日や夜間に利用できる余暇支援及び交流スペースの設置
- 現在当市には夜間の余暇支援がなく、休日に利用できる事業所も少ない。

資源開発部会が実施した支援者向けアンケートの結果でも、緊急時対応が可能な事業所の増加及び夜間や休日などの居場所や交流の場の必要性が結論付けられている。

当部会では上記4点を、行政機関に求める必要な役割として、福祉部長宛の要望書を作成後、提出を行いたい。

【地域共生部会】

1. 部会開催について

月1回程度実施 原則 第3月曜日 15時～16時半

第1回 4月15日(月) 第2回 5月20日(月) 第3回 6月17日(月)
第4回 7月16日(火)

2. 2019年度の活動内容(取り組むべき課題について)

目標：地域で生きる(暮らす)を支援する

①児童、障がい福祉・教育・介護等関係機関連携強化

『支援者研修会』の開催

⇒ 医療、福祉、介護、教育関係等市内の支援者に案内を行い、制度で途切れない支援の継続を目指し、人が繋ぐ支援体制を構築する。

開催日 : 2019年 9月5日(木)

時間 : 19時～21時

開催場所: 福祉会館 4階 多目的ホール

内容 : 研修テーマ『誰もが生涯を安心して送るために、今考えること』

①話題提供...『当市の課題、支援者の視点とは?』

提供者: 高塚政生氏(自立支援協議会委員)

②座談交流会(テーマ別グループワーク)

1、はざまの支援 ～制度間のつなぎを考える～

2、はざまの支援 ～支援者間のつなぎを考える～

3、『地域で暮らす』を支援するために必要なポイントとは?

4、困難事例を解決するための連携 ～支援を拒否する人への対応～

5、困難事例を解決するための連携 ～DV・虐待～

6、有益な支援をするための人材確保・人材育成について

②住民理解促進(地域共生を目指す)

昨年に引き続き、防災をテーマに、住民参加を伴う研修会(あなたも支援者、わたしも支援者)を開催する。

なお、研修会には、昨年まで自立支援協議会常任役員会で実施していた事業所説明会の要素(相談)を加え、障がい福祉サービス事業所等のより一層の啓発を行う。

例年通り、市内の事業所に事業所案内、出店、作品展示等を依頼し、当事者ともふれあい、交流しながらの研修会を実施する。

⇒ 地域住民を対象に広く参加を案内する。

加えて、従来の事業所説明会の対象であった、教育機関からの卒業生等にも積極的に案内する。

開催日 : 2020年 2月 土曜日で開催予定

開催場所: 市市民交流棟 及び 防災センター

内容 : ぼうさい学校 2020

詳細は今後部会で検討していく

<座談交流会 テーマ>

①はざまの支援 ～制度間のつなぎを考える～

年齢や状況（環境）によって異なる法制度、その制度と制度の間が途切れることなく支援ができるように、各制度の支援範囲や目的等の理解を深めつつ、支援者がつながる工夫等について考える。

②はざまの支援 ～支援者間のつなぎを考える～

不登校、ひきこもり（年齢問わず）、発達障がい等診断や障がい認定を受けてはいないが支援が必要な人への支援について考える。

③『地域で暮らす』を支援するために必要なポイントとは？

『生活を支援すること』とは何か？支援者の心構えや支援をスムーズに行うための方法論、相談者との関係性の築き方等について考える。

④困難事例を解決するための連携 ～支援を拒否する人への対応～

事例等をもとに、どのような支援、アプローチを行っていけるか。また、支援者間の情報共有や連絡体制を構築することで、支援を拒否している人に必要な支援を届ける方法を考える。

⑤困難事例を解決するための連携 ～DV、虐待～

事例等をもとに、自分の立ち位置（職種）から行えるアプローチを整理し、関係機関が協力し対応する方法や工夫について考える。

⑥有益な支援をするための人材確保・人材育成について

医療、福祉、介護業界における支援者不足が取沙汰されている中、必要な支援を提供するために各事業所が行っている人材確保、人材育成の工夫について話し合う。また、協力、連携することで解決できることはないか、模索する。

【相談支援専門員連絡会】

1. 部会開催状況

2019年度 第1回 4月23日(火) 第2回 5月23日(木)
第3回 6月25日(火)

2. 活動内容

- ・ 困難事例の簡易スーパービジョン
- ・ 自立支援協議会部会員からの報告を受け、協議内容、進捗状況の共有
- ・ 事業所説明会等、事業所の紹介機会の協議
- ・ 相談業務Q&Aの作成に向けて、質問内容の検討
- ・ 新規事業者の紹介

3. 今後の予定

- ・ 月1回の開催予定
- ・ 計画、モニタリング、国保連への請求や加算についての学習会
- ・ 自立支援協議会への積極的参加
- ・ 相談支援の質の向上に向けて（困難事例の状況共有、事例検討）
- ・ 災害時個別支援プランの進捗状況の確認

2019年度 四国中央市就職準備フェア開催要綱（案）

1 目的

「障がい者就労」をテーマに、企業での障がい者雇用の取り組みを紹介したり、障がいのある方が面接等疑似体験等を通じて就労に必要なことを学んだりする場を提供することで、企業と障がいのある求職者の相互理解を深め障がい者就労の向上を目指す。

2 主催 2019年度 四国中央市就職準備フェア実行委員会

3 開催日及び場所

- (1) 2019年12月7日（土） 福社会館4階多目的ホール
 - (2) 2020年1月14日（火） 福社会館4階多目的ホール
 - (3) 2020年1月26日（日） かわのえふれあい交流センター
- 以上の日程・場所から企業等との協議により設定する。

4 参加者 障がいのある方等で就労を希望する方等 約100人

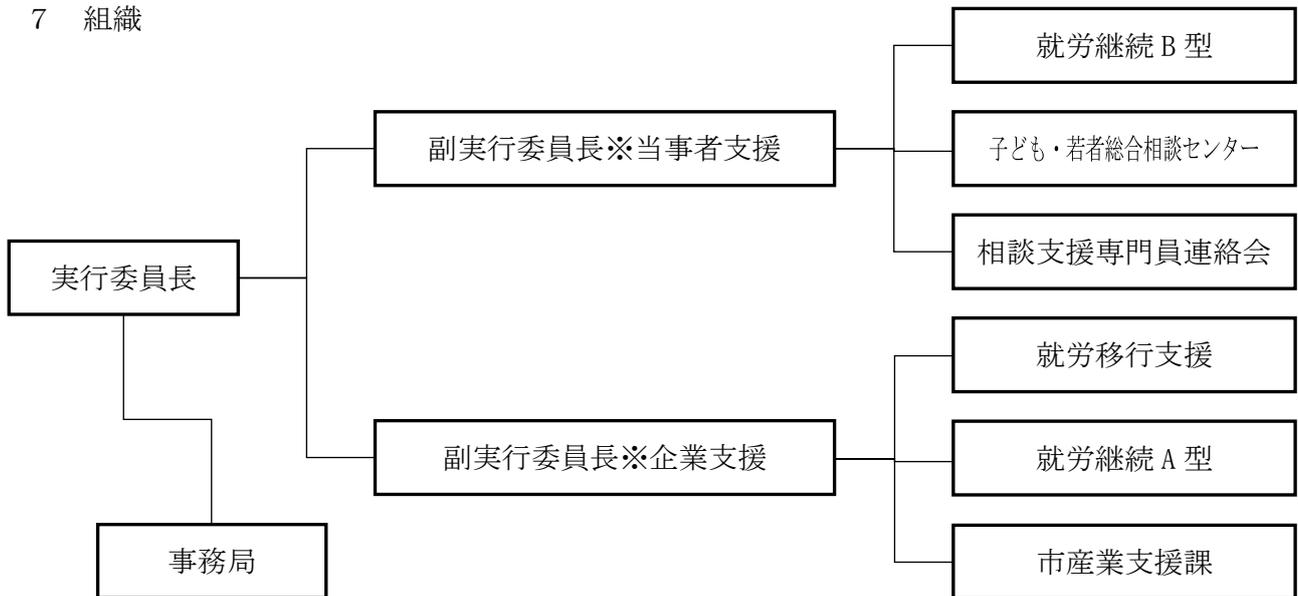
5 内容

- (1) ミニセミナー（複数の企業が障がい者雇用の実際を語るセミナー）
 - (2) 事業所コーナー（企業と求職者が個別に情報交換できるコーナー）
 - (3) プチ面接コーナー（企業担当者と簡単な面接を疑似体験できるコーナー）
- など

6 スケジュール

- | | | |
|-----------|-----|-----------|
| 8月 | 第1回 | 第1回実行委員会 |
| 9月 | 第2回 | 第2回実行委員会 |
| 11月 | 第3回 | 第3回実行委員会 |
| 12月もしくは1月 | | 就職準備フェア開催 |

7 組織



8 実行委員会名簿

No	役職	氏名	所属	担当
1	実行委員長	曾我部 綾	ジョブあしすと UMA	総括
2	副実行委員長	宮部 保人	四国中央公共職業安定所	企業支援総括
3	副実行委員長	藤原 夕紀	自立支援協議会常任委員選出	当事者支援総括
4	実行委員	藤原 卓也	就労移行支援事業所 代表	企業
5	実行委員		就労継続 A 型事業所 代表	企業
6	実行委員	佐竹 泰	就労継続 B 型事業所 代表	当事者
7	実行委員	鈴木 秀明	自立支援協議会相談支援専門員連絡会 会長	当事者
8	実行委員		子ども・若者総合相談センター	当事者
9	実行委員		産業支援課	企業
10	事務局	田邊 真二	生活福祉課	事務全般

9 その他